



# HIMUKA ひむか

MIYAZAKI  
PREFECTURE  
ARCHAEOLOGICAL  
CENTER  
NEWS LETTER 2024-25



27

令和6年度  
宮崎県埋蔵文化財センター通信  
ひむか 第27号

宮崎県埋蔵文化財センターは、県内各地において遺跡の発掘調査や、西南戦争関連遺跡などの重要遺跡の保護を目的とした分布調査を行っています。また、これまでの発掘調査で出土した土器や石器などの遺物、遺構の写真や図面といった記録は、学術研究のほか、展示会や出前講座などで活用し、県内の様々な場所において郷土の歴史を学ぶ機会を提供しています。

写真 左上：出前講座（西南戦争関連遺跡） 右上：現地説明会（城川遺跡）  
左下：発掘の様子（東睦原第1遺跡） 右下：触れて学ぶ体験講座



令和6年度  
発掘調査

県内最古クラス的生活あと

ひかし うね わら

## 東睦原第1遺跡（新富町大字新田）

調査期間：令和5年9月21日～令和6年3月15日 令和6年5月27日～令和6年12月6日



遺跡遠景



旧石器時代の礫群



作業の様子

東睦原第1遺跡は、鬼付女川左岸にあり、三財原段丘上の緩やかな傾斜地に立地しています。旧石器時代の生活痕跡を確認できる貴重な遺跡です。

前年度から約1年間かけて発掘調査を行い、旧石器時代の礫群や石核、ナイフ形石器や二次加工がある剥片、縄文時代早期の打製石鏃などが出土しました。出土状況から、少なくとも8つの時期に渡る生活の痕跡が確認でき、この地が旧石器時代から縄文時代にかけて、くり返し利用されていたことが分かりました。なかでも約35,000年前の地層で発見された礫群や石器は、県内でも最古クラス的生活あととして注目されます。



令和6年度  
発掘調査

庄巻の土器集中空間

しろかわ

## 城川遺跡（宮崎市大字島之内）

調査期間：令和6年8月26日～令和7年3月14日



遺跡遠景



遺物の出土状況



竪穴住居跡

溝状遺構

井戸状遺構

城川遺跡は、石崎川の河口から約4.5 km、旧流路が大きく南へ蛇行する所に形成された微高地上（標高約8 m）に立地し、県立明星視覚支援学校グラウンドに位置しています。

発掘調査の結果、古墳時代のたてあな住居跡4軒、土坑3基、溝状遺構3条、井戸状遺構などが確認されました。また、古墳時代以降の掘立柱建物跡7棟、溝状遺構8条も確認されています。

遺物は、古墳時代から近現代のものまで出土し、なかでも遺跡南側の谷部分から、古墳時代の土師器が集中して見つかりました。

城川遺跡は、複数の時代の出土遺物や遺構が確認されましたが、特に古墳時代初め頃の限られた期間に生活が営まれた集落跡と考えられます。

施設見学/職場体験/インターンシップほか

埋文センターで『ホンモノ』を体験しよう

本センターでは、施設見学や職場体験、インターンシップなどを実施しています。センター分館では、展示解説やバックヤードツアー、地域の歴史講座のほか、土器や石器の実物に触れたり、石器レプリカづくりなど様々な体験活動も行っています。



バックヤードツアー



職場体験





近代宮崎の出発点

せいなん

# 西南戦争関連遺跡調査・活用事業

調査期間：令和5年度～令和7年度（3か年）



今年度は、新たに20か所、63基の遺跡を確認しました(令和7年1月末現在)。都城市高崎町の旧谷川墓地では、銃弾痕の残る墓石群を調査しました。明治10(1877)年7月17日、高崎と高原の境界付近において、墓地を挟んで繰り広げられた銃撃戦は熾烈を極め、墓石には無数の銃弾痕が残されました。高速道路建設に伴い、墓地は移設されましたが、銃弾痕の残る墓石は本来の場所に近い高速道路の脇に現在も残されています。

墓地にほど近い高崎麓小学校で実施した出前講座では、墓石群から中継を行い、当時の戦いの様子に思いを馳せました。



解き明かされた地域の歴史

## ふるさとの遺跡再発見 [移動展示会]

期間：令和4年度～令和6年度（3か年）



埋蔵文化財センターには、県内各地の発掘調査で出土した膨大な資料が収蔵されています。その成果を県民の皆様に還元するため、今年度は、高千穂会場(高千穂町コミュニティセンター)、山之口会場(山之口総合支所)、国富会場(国富町総合文化会館)の3会場で開催しました。展示会では、地域の方々に埋蔵文化財をより身近に感じていただけるよう、各会場周辺遺跡からの出土資料を中心に約250点を展示し、関連講座を行いました。

また、事業の一環として、「ふるさとの遺跡学習会」を会場周辺の学校で実施し、地元出土の実物資料に触れたり、古墳のAR体験なども実施しました。



出前講座/出前展示ほか

### 『ホンモノ』の感動をお届けします

宮崎県内から出土した実物資料や遺跡中継、デジタル資料などを組み合わせた出前講座・体験講座など、ご要望に合わせた授業・研修を実施しています。また教職員研修や家庭教育学級、PTA催事、地域の文化祭、生涯学習会などにもお伺いします。



### 【R6 利用団体数(回数)】

- 小学校28(33)、中学校2(4)、
- 大学1(5)、特別支援学校2(4)、
- 幼稚園・保育園1(1)、
- 児童クラブ10(12)、教育委員会2(2)、
- 家庭教育学級1(1)、一般団体9(9)

計56団体(71回)

# 「ホンモノ」の感動を埋文センターで

宮崎県埋蔵文化財センターでは、年間を通して、様々なイベントを行っています。  
「ホンモノ」の感動を埋文センターで体験してみませんか。

## 埋文講座

- 6月22日(日) 『むかし、五ヶ瀬川の訃(ほとり)にて』田宮遺跡(延岡市)
- 8月24日(日) 『触れる講座～縄文時代～』ワークショップ
- 12月21日(日) 『西南戦争の戦場を歩く 宮崎の激戦地をたどる』
- 1月18日(日) 『遺跡発掘あれこれ～宮崎県埋蔵文化財センター30周年を迎えて～』
- 3月15日(日) 『圧巻の土器集中空間～学校下50cmの古墳時代集落～』城川遺跡(宮崎市)



近年、発掘調査を行った遺跡や、調査研究の成果、解き明かされてきた宮崎の歴史についての講座を行います。



## 移動展示会 触れて学ぶ ふるさとの遺跡再発見

諸塚会場 日時 10月1日(水)～10月23日(木) 展示解説・体験講座 10月18日(土)  
場所 諸塚村中央公民館

ホンモノの土器や石器に触れる体験を中心に、本センターがこれまで行ってきた遺跡の調査・研究の成果を還元します。ぜひお越しください。

## 遺跡発掘成果展

### 東九州自動車道118遺跡 新富～高鍋編

日時 1月28日(水)～2月15日(日)まで  
場所 宮崎県立図書館 特別展示室(2階)  
[特別講座] 2月1日(日) 13:30～15:00

本センターが東九州自動車道建設に伴って行った発掘調査を振り返り、  
展示・紹介します。2月1日に特別講座・ギャラリートークを開催します。



## 博物館こどもDAYコラボ

### 埋文センターで『ホンモノ』体験

日時 11月3日(月) 祝日  
場所 宮崎県埋蔵文化財センター分館(県総合博物館北東側)

埋文センターで土器や石器の実物に触れたり、石器レプリカづくりやミニ発掘体験、  
バックヤードツアーに参加し、「ホンモノ」の感動を体験しませんか。

編集・発行 宮崎県埋蔵文化財センター

【本館】〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019 (本館には展示施設はありません)  
TEL 0985-36-1171 (総務課)、0985-36-1172 (調査課)

【分館】〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4-4 (県総合博物館北東側)  
TEL 0985-21-1600 (普及資料課)

